

# HISTORICAL COMMENTARY & DESIGNER NOTES



## War of 1812 AMATEURS TO ARMS!



Amateurs, To Arms! © 2012 Clad of Arms Games

歴史背景説明&デザイナーの注釈



## デザイナーズ・ノート

By Jerry Shiles

**Amateurs to Arms!** のデザイン目標は、1812 年戦争中にアメリカ軍やイギリス軍を率いたジェームズ・マディソンやジョージ・ブレヴオストの体験をプレイヤーに与えることです。これらの個人は、運命の管理者ではありませんでした。合衆国は、軍事、財政基盤、国民の統一が欠けた国家でした。カナダのイギリス軍は、自軍の闘いをナポレオン・フランスとの闘争の気晴らしと見なし、彼らが信用しなかった US 人口の 7% 程度の住民をそのように扱っていました。もしもあなたがこのゲームに欲求不満で、やるべきことに必要なカードや部隊を持たなければ、ブレヴオストやマディソンが通った道を理解することになります。

**Amateurs to Arms!** で最も顕著な特徴の一つは、軋轢のアイデアでした。前に述べたように、どちらのプレイヤーも理論的に使用可能な資源を生み出すことができません。両陣営の指揮統率は、司令官の混乱した指図、貧弱な輸送手段と補給網、戦争熱意の欠如によって継続的に挫折していました。多くの人々は、ランダム・イベントをシミュレートするためにプレイヤー諸氏にカードの使用を認めることがややゲーム的と感じました。ただし、物事は常に致命的な瞬間に悪く進みます。キャンプをしているときの悪天候は気になりませんが、攻撃発動を企てているときには重大です。カードは、実際に起きた状況に類似した歴史的事件を認めます。物事は悪くなりがちですが、それが人生というものなのです。150 枚のカードは、決してどんなイベントが起こるかあなたが知らないことが鍵です。

**Amateurs to Arms!** を他のゲームと異なるものになっているのは、和平記録欄とカード保持の概念です。和平記録欄については、領土の保全がガンでの話合いにインパクトを持ち得るのか、勝利を判定する上で覚えておくことが重要ですが、それは大きな要素ではありません。記録欄を移動させる各カードは、ほぼ常に作戦ポイントよりもイベントのために高い価値を持ちます。イギリス軍は、封鎖によって和平記録欄の管理に大きな優位性を持ち、それはゲームが進んでいくに連れて顕著です。ゲームが終了近くになればなるほど、和平は常にあなたが望むよりも早くやって来ることに注意を払うのは、非常に重要です。あなたは、和平が宣言された後に、ボーナス・プレイのために移動の可能性を望むこともできます。

カード・プレイについては、プレイヤー諸氏が忘れがちな 1 つは、選択肢を持つことです。極めてしばしば、プレイヤー諸氏はプレイしたばかりのカードをケースにしまい込みます。全てのカードは自身の目的を持ち、ここでは完全な潜在性を発揮できませんが、後に使用できるかも知れません。相手の手札をカラにすることを認めるためにパスもしばしば用いられます。ゲームは、適度に動いて開始するようデザインされており、もしもそうならないでください。何もしないことは、ときには最良の選択です。

**Amateurs to Arms!** のユニークな特徴の一つは多数のカードにあり、ゲーム毎に異なる展開を保証します。ただし、プレイヤー諸氏を手助けするいくつかの注釈があります。

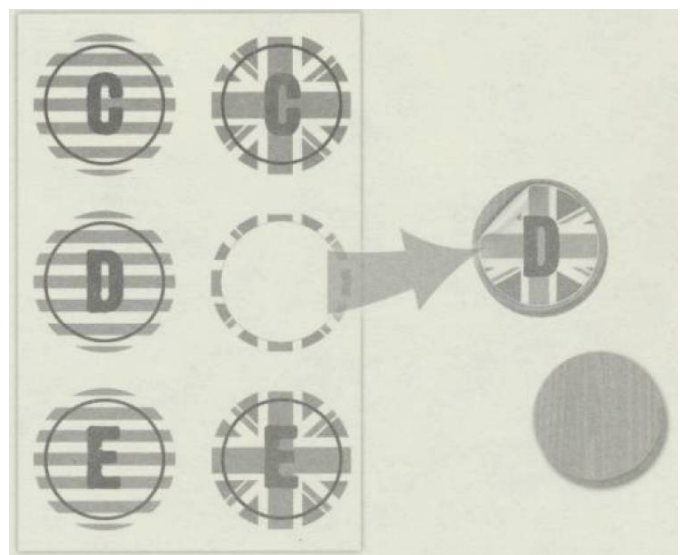
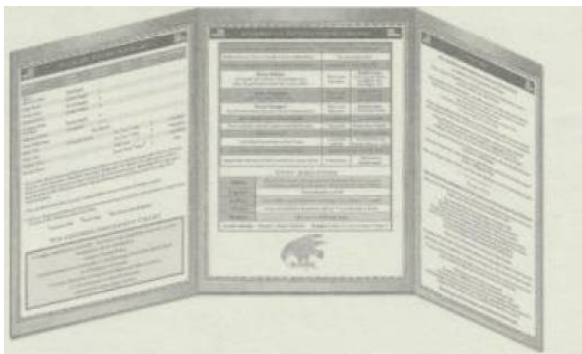
イギリス軍プレイヤーにとって、Ft. Mackinac を迅速に奪取することは非常に重要です。これは、彼が追加のインディアン同盟者を登場させることができる唯一の方法で、もしも占領に失敗すると西部の戦略が不可能とすら見なされます。加えて、これはアメリカ軍プレイヤーのインディアン国家姿勢に対するカウンターです。

湖支配の一般的な注釈：大部分のゲームでは、アメリカ軍はエリー湖を失うことを容認できず、イギリス軍はオンタリオ湖を失うことを容認できません。キングストン [Kingston] は、イギリス軍態勢の鍵であり（アメリカ軍はこの事実を認識していましたが、決して実行には移しませんでした）、その損失は確実にイギリス軍プレイヤーの敗北を招きます。もしもあなたが作戦ポイントの消費につい

### ルール・ブックに入れなかった注釈

30 個の各木製ディスクにステッカーを 1 枚貼ります。➡

ルール内のゲーム内容物のリストには、「3 枚のプレイヤー補助カード」が要求されます。これらの 2 枚は、チャートを持つ三つ折りのプレイヤー・スクリーン（下図）です。他のアイテムは、戦闘結果表ですが、これらを 2 枚に分割して各プレイヤーへ提供することに変更しました。





て分からないのであれば、艦船の建造は決して悪いアイデアではありません。

あなたの相手は、ほぼ常にあなたが思うよりも脆弱です。このゲームでは部隊が溶けてしまい、それらが必要な場所で獲得することが困難です。これは、特にイギリス軍に当てはまります。部隊レベルに注意することが重要です。アメリカ軍は、これに関してより柔軟性を持ちますが、その徴兵エリアは通常は前線から離れています。

良好な指揮統制は、決定的です。指揮官は、不足するぐらいならば余の方がましです。本質的には、最も優秀な指揮官を遊ばせないことです。危機的なエリアに派遣隊を移動させることは、現在そこにいる怠け者に活動を開始させるよりも遥かに簡単です。

あなたは、手札で常に何かを行うことができます。もしも何もなければ、イギリス軍プレイヤーはアメリカ軍プレイヤーを悩ませることで、アメリカ軍のカード優越への対抗を試みることができます。反対に、アメリカ軍はイギリス軍プレイヤーの少ない手札を消費させるために、その戦力を使用できます。

我々の狙いは、沸き起こる問題を克服するために、プレイヤーが想像力と創造性を用いるのを認めることでした。勝利するためには、ゲーム毎に異なる百通りの方法があります。マディソンやプレヴォストが経験した、不確実で気まぐれな体験をプレイヤーができることが我々の希望です。それに成功していることを望みます。

## カードのコメント [一部抄訳]

By Jerry Shiles and Kevin Mcpartland



### 1～8―大戦役、小戦役 [Major Campaign, Minor Campaign]

これらのカードにより、統率している1人の指揮官は派遣隊の補給限度又は彼の統率限度のどちらか低い方を越えて、5又は10ユニットで移動と戦闘を行うことができます。3つ星将軍がこれらのカードを使用することで、25又は30戦力ポイントまで移動させることができますが、戦闘で追加の特典はありません。

Amateurs to Arms! の戦役カードは、多くのカード・ベース・ゲームとは異なり、複数の統率に活性化を認めません。

これには立派な理由があります。1812年戦争では、彼らは決してそれを管理しませんでした。彼らはそれについて考えました。彼らはそれについて計画しました。彼らはそれが起きるよう命じました。しかし、ゲームの規模や尺度では決して起きませんでした。カードが提供するのとは、通常可能なよりも巨大な数の部隊を動かすための能力と、高い数値カードの提供です。

### 9～12―一瞬の煌めき、一瞬の無能 [Momentary Brilliance, Momentary Incompetence]

いったん、これらのカードの1枚がプレイされると、活性化全体に影響し、続く全てのカードプレイを含みます。煌めきと無能カードは、互いに打ち消す(又は部分的に打ち消す)ことができます。

私は朝型人間ではないので、私の精神は一日の後の方と同じレベルでは機能しません。このゲームの指揮官たちに評価を割り当てる上での問題の1つは、多くの選択肢と推測が含まれたことです。アイザック・ブロックとウィンフィールド・スコットがあらゆる面でウィリアム・ハルやウェイド・ハンブトンよりも優秀だったことはほぼ確実ですが、その他の指揮官については非常に困難でした。

彼らの多くは、少ない出来事を基準に決定しました。彼らは不運な犠牲者だったに過ぎないのか、あるいは反対にツキがもたらされて実際の価値よりも遥かに好意的に評価されているのかも知れません。つまり、これらのカードの目的は、盲目のリスが栗を拾うのを認めることと、その当時闘うには時期尚早だった天才の可能性を認めることです。

### 13 (125 も) ―オールド・アイアンサイズ [Old Ironsides]

開戦時にまだオールド・アイアンサイズとして知られていなかったUSS コンスティテューションは、すでに14年間就役してフランスやバーバリ海賊たちと闘っていました。アイザック・ハル(ウィリアム・ハルの甥)とウィリアム・ベインブリッジの指揮下で、彼女は米国海軍史上最も有名な艦となりました。

### 14―ステファン・デケーター [Stephen Decatur]

開戦時、合衆国は凝縮された海軍戦略を持つことを考えていませんでした。もしも個々の艦長が率先して海に出て行ってイギリス軍と闘わなかったら、米国海軍は戦争に影響を与えなかったでしょう。戦争後期、ステファン・デケーター指揮下の戦隊がシーレーンを破壊するという素晴らしいアイデアを提案しましたが、このときまでに多くのアメリカ軍艦船は自軍港に封鎖されていました。

### 15―蜂 (Wasp) に刺された [Stung by a Wasp]

スループ艦USS ワズプは、短くても成功した生涯で、二度の航海で15隻の敵艦を討ち取りました。彼女の犠牲になった大半は、燃やされるか沈められました。彼女は私掠船ではなく、乗組員を拿捕艦回航員に割くことを望みませんでした。彼女は、二度目の航海から帰還しませんでした。

### 16―自由貿易と水夫の権利 [Free Trade and Sailor's Rights]

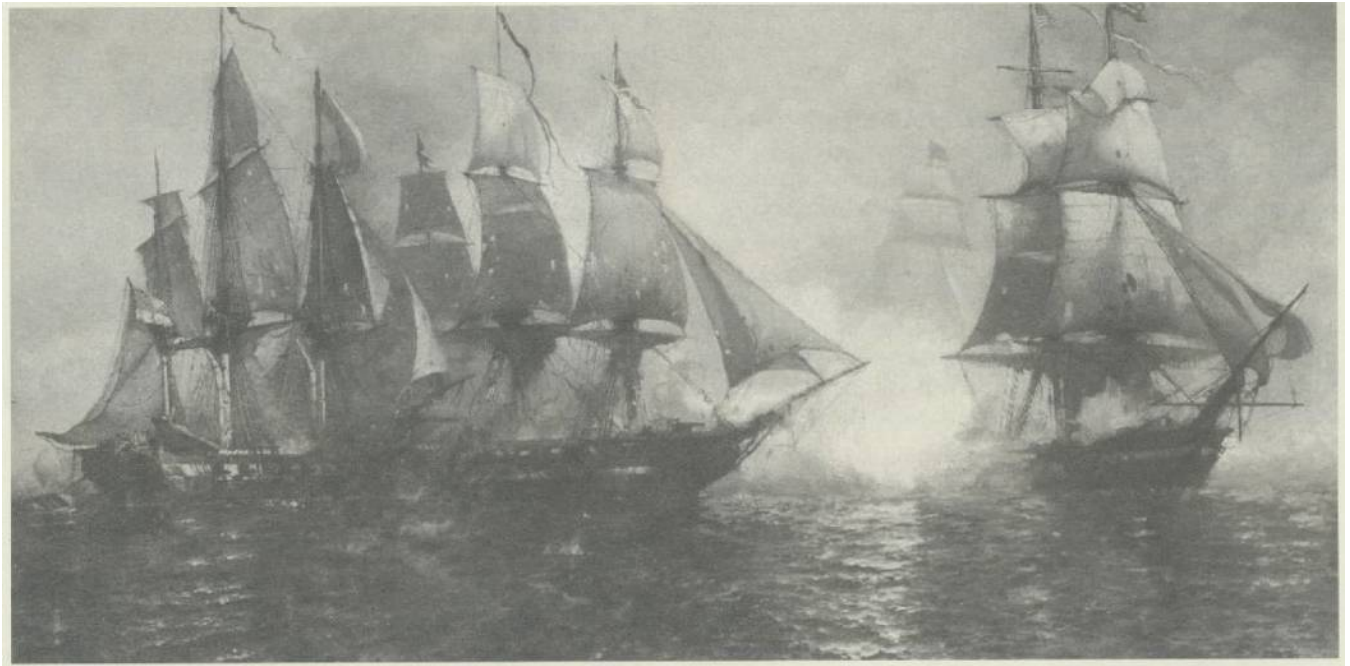
USS チェサピークの艦長は、米国が参戦した主な理由を巧妙に加えたこれらの言葉を書いた旗を掲げ、乗組員の士気を高めました。通商破壊航海に成功した後、彼女は準備のためにボストンに入港し、新たな乗組員とジェームズ・ローレンス艦長を得ました。一方、HMS シャノンも、封鎖任務に就いていました。シャノンの艦長は単独戦闘を試みるため、チェサピーク湾に急派されました。疑いなく、シャノンは英国海軍内で最高に訓練された乗組員を持たず、チェサピーク湾で短期間の任務を行っていました。ローレンス艦長の今わの際の言葉は「艦を見捨てな！」でしたが、イギリス兵が彼女に乗り込んですなり捕獲しました。物語の続きは、カード65を参照してください。

### 17―イギリス海軍の勝利 [British Naval Victory]

アメリカ軍のフリゲート艦は、自艦よりも大きな艦よりも速く、強力な艦は火力で圧倒するために設計されました。しかし、USS プレジデントは、イギリス軍のニューヨーク封鎖をすり抜けることを試みて障害を攻撃したときに損傷を被り、HMS エンディミオンが損傷艦に追いつくことができ、プレジデントによって破壊されるまで更に深手を負わせました。しかし、それは遅すぎたのです。封鎖戦隊の残りが彼女に追いつき、プレジデントは艦旗を降ろしました。ここでの教訓は明らかです。プレジデントは、障害物の外に留まらねばならなかったのです。

### 18―アメリカの私掠船 [American Privateers]

18世紀初期には、カリブ海の「シュガー・アイランズ」間の貿易は、イギリスの通商にとって特に有益でした。1805年にトラファル



ガーでナポレオンの艦隊が破れた後、この貿易は比較的安全になりました。

#### 19ーボルチモア・クリッパー [Baltimore Clippers]

チェサピーク湾周辺貿易のために建造された小型高速の帆船は、素早く私掠船に改装されました。熟練乗組員たちが極めて成功を収める一方、ボルチモアに設立された造船所では素早く大量に建造されました。間もなく、イギリス軍はこの都市を「海賊の巣窟」と呼ぶようになりました。

#### 20ーバミューダの私掠船 [Bermuda Privateers]

驚くべきことに、イギリス人も私掠船免許を獲得しました。バミューダは、私掠船と海賊の長い歴史を持っていました。米国独立戦争中、アメリカ人は奇妙な関係を持っていました。アメリカ人は、タークス諸島の製塩支配のため、バミューダに依存していました。一方、バミューダは、人々に食べさせるためにアメリカの生産に依存していました。しかし、これはバミューダ人がアメリカの海上交通を襲うことを止める理由になりませんでした！ 1812 年戦争が宣言されると直ちに、彼らは古い方法に戻りました。道路輸送は遅くて当てにならず、ボート輸送よりも高くつきました。結果的に、小型帆船が東沿岸に沿ってほぼ全ての貿易を行いました。終戦までにイギリスの私掠船と封鎖は、この通称を完全に断ち切り、様々な産物の地域的欠乏を生じさせ、都市から都市へと極端な価格変動が起きました。

#### 21 (53&79 も)ーナポレオンが挫折する [Napoleon Suffers a Setback]

ナポレオン以上に大きな影響力を持った人間はいません。もしも彼の没落がこれほど急であることを知っていたらアメリカ人は決して宣戦しなかったし、イギリス人はナポレオンとその一味が英国の撃破を試みた戦争の一部と考えたでしょう。最初に、合衆国は宣戦布告を強く求められ、その脅威を打ち負かすために非常手段をとりました。イギリスは、その行動に関して、常に極めて近視眼的でした。ドイツやフランスは、イギリスが断固として権利を守ることを示すとき、その恐るべき証拠を見せつけられました。チャーチルは、ノルウェーとスウェーデンの中立侵犯を計画し、もしも侵攻されたら化学兵器の使用も辞さない考えでした。なぜならば、それは「正当」なことだったからです。彼らは「帝国」に何年も支配されて痛めつけられてきましたが、ほぼ 70 年間の経過してもドイツが関与した第二次世界大戦の勃発を阻止できませんでした。

#### 22ー彼女が爆発しているぞ！ [Thar She Blows !]

1800 年代初期までに、米国では捕鯨事業が確立し、ナンタケットとニュー・ベッドフォードの港に中心が置かれていました。捕鯨のリスクは大きくなり、猟場を求めて太平洋の奥深くに進出していきました。戦争が勃発したとき、これらの艦船は正当な獲物と見なされ、海上から一掃されました。捕獲される前に戦争勃発を耳にした艦船は帰還し、しばしば私掠船に改装されました。

#### 23ーウィルキンソンが全てを暴露 [Wilkinson Reveals All]

ターン中に引かれたカードは、明らかにされる必要がありません。戦役カードは、ops ポイントのためにプレイできますが、これは宣言されなければなりません。

ジェームズ・ウィルキンソンは、歴史上でベネディクト・アーノルドと同じ立場にいます。人生の様々な時点で、彼はジョージ・ワシントンがホレイショ・ゲイツに入れ替わる陰謀のメンバー、合衆国を分裂させ、スペイン王室の諜報員に利益を与えたアーロン・バーと共に陰謀者です。彼はベネディクト・アーノルドを支援するためにも従事し、メリウエザー・ルイスの死にも関与していた疑いがあります。私は彼が啓明結社のメンバーだったことが判明しても驚きません。彼がイギリス軍に直接情報を供給しなかった唯一の理由は、彼らが彼に接近しなかったからです。

ウィンフィールド・スコットは、戦前にニュー・オリンズでウィルキンソンの下で奉仕する不幸に見舞われました。彼は自身の司令官を「裏切り者、嘘つき、悪党」として告訴しました。スコットの評価が正しいことは証明されましたが、彼の告訴は軍法会議で 1 年間の停職の結果となりました。予想できる状態で、トーマス・ジェファーソンは、彼の最大の支援者の一人で留まりました。ウィルキンソンのスペインとの抜き差しならぬ関係は、彼が死んだ 1825 年の後に続く、米西戦争後にハバナで奪われたコレクションを含む、スペイン公文書館の調査まで証明されませんでした。

#### 24ー暴発 [Magazine Explodes]

ゼブロン・パイクは、ヨーク（今日のトロント）におけるアメリカ軍の勝利の後に死亡しました。パイクは捕虜を尋問中に火薬が暴発し、木端微塵になりました。パイクと他の 38 名が死亡し、200 名以上が負傷しました。



### 25-暴発 [Magazine Explodes]

エリー湖の戦いで、イギリス軍の攻撃中に火薬が爆発しました。150~200名が戦死しました。

### 26-ローワー・カナダの不穏 [Unrest in Lower Canada]

このカード（とカード27）がプレイされるときに適用されるのかどうかは、明確にできません。もしもターン終了時にプレイされたら、二倍の和平記録欄の移動を提供できることになります。

開戦時、イギリス軍はケベックのフランス系カナダ人の忠誠心に厳しい疑いを持っていました。ナポレオンへの同情が蔓延し、200年後にもまだ政治状況は和解されていません。これらの状況の大部分は常に現実だったことと同様に、実際の危険性は恐れていたよりも遥かに少ないものでした。明らかに、フランスが反乱者たちを支援する方法はなく、人民の大部分はイギリスの統治下にあることを受入れ、アメリカへ併合されて自らの権利と慣習がこれ以上侵されることを恐れました。

### 27-アッパー・カナダの不穏 [Unrest in Upper Canada]

1812年に、アッパー・カナダの主要な居留地の少数派と西方地域（エリー湖沿い）の多数派は、元々アメリカ合衆国からの移民でした。両陣営は、交戦が開始されると、多くが米国に命運を委ねると見なしていました。この場合の問題は、彼らの多くが自身をアメリカ人と考えていない事でした。彼らは、宗教紛争、重税、より良い機会のためにアメリカを去りました。25年間存在したことによる彼らの国家への忠誠心は、大きくはありませんでした。大部分は、日々の生活に困窮し、戦争の勝利よりも生き残ることに関心がありました。

### 28-民兵の帰郷 [Militia Goes Home]

これは、民兵を完全に信頼できない理由の1つです。

### 29-民兵の帰郷 [Militia Goes Home]

もしも端数が生じたら、切捨てた数を取り去ります。これは、他も同じです。

### 30-レッド・スティックの蜂起 [Red Stick Uprising]

レッド・スティックは、自分たちの土地を回復するためには、増え続けるアメリカ人居留地を強制的に排除するのが唯一の方法であると感じるクリーク族の間でも戦闘的な一派でした。それはうまくいきませんでしたが、おそらく他に選択肢はなかったでしょう。チェロキーとセミノールは、戦争中に合衆国に対して蜂起しませんが、セミノールは戦後の短期間に反乱を起こしました。

このカードは、彼らにその機会を与えます。

### 31-ミシシッピ焼討ち [Mississippi Burning]

米国にとって幸運なことに、チョクトーとチカソー族はクリーク戦争と1812年戦争中に友好を保ちました。アメリカ軍プレイヤーは、この幸運を期待するだけです。

### 32-インディアンの襲撃 [Indian Raids]

このカードは、実際には1800年から1830年頃までの間にいつでもプレイできます。1832年のブラック・ホーク戦争の終了のみが、ミシシッピ渓谷を最終的に安全な居留地にします。

### 33-インディアンの襲撃 [Indian Raids]

フォート・マキナックをアメリカが失ったことは、開拓地におけるアメリカ居留地内の様々なインディアンへの襲撃を活気づけました。これらの1つがフォート・デアボーンで、守備隊は殺されるか捕えられ、砦は破壊されました。最終的にシカゴとなるこの地は、ガン条約後まで再占領されませんでした。

### 34-民兵の熱狂 [Militia Enthusiasm]

いかなる端数も切り上げます。

明らかに、人が奉仕しなければならない事に反対して奉仕することを望むのは良いことです。

### 35-テカムセの部族蜂起 [Tecumseh Raises the Tribes]

合衆国の大きな優位性の1つは、その歴史的発展過程で先住民か

らの抵抗が常に小規模で散発的だったことです。もちろん、先住民たちは彼らの領土に移動して白人居留地を襲撃しましたが、集約された防御戦略を創出することや、侵害しているアメリカ人のインフラを突くことはありませんでした。テカムセは、これを観察してそうすることを試みた指導者の1人です。連合国を形成する彼の努力は、マニフェスト・デスティニーが脱線させられたかもしれない唯一の時期でした。

### 36-フォート・ミムズの虐殺 [Ft. Mims Massacre]

もしもアンドリュー・ジャクソンがすでにイン・プレイであれば、アメリカ軍プレイヤーは彼をナッシュヴィルへ移動させるか又はその場に残すことを選択できます。

虐殺はクリーク戦争を開始させませんでした。国家の注意を喚起しました。これは、クリーク族の一派間で低レベルの争いを起こさせ、最終的にアンドリュー・ジャクソンをホワイト・ハウスに送りこみ、南東から全ての先住民を取り去る彼の政策をもたらしました。虐殺自体は、防御側の怠慢以外の何物でもなく、門が開まることを避けるために土をどかし、斥候や歩哨を置いていませんでした。

### 37-民兵がインディアから逃亡 [Militia Flee Indians]

戦争で最も根本的な要素の1つは、インディアンに対するアメリカの態度でした。彼らはイギリス軍に同盟者として雇われて戦争犯罪をしたと見なされ、イギリス軍は彼らに居留地の攻撃と可能な限り多くのアメリカ人を殺すようそそのかししました。実際に、彼らは国家安全の脅威と見なされ、彼らを移すことのみが真の平和を可能にすると信じられました。アメリカ人の気持ちは、彼らを殺すことができないお化け、悪魔と見なしていました。イギリス軍は、インディアン同盟国が支配できないお化けがしばしば蜂起し、さらなる抵抗を促すと恐ろしい結果になる脅威で、この完全な優位性を獲得しました。



### 38ー民兵がインディアンを恐れる [Militia Fear of Indians]

上記を参照してください。

### 39ーデビッド・パリッシュ [David Parrish]

退却又は「行軍の問題に過ぎない」のプレイでさえ、4つの「立入禁止」エリアを破れることに注意してください。

地上げ屋で投資家のパリッシュは、戦争中に合衆国の財政に大きな役割を演じました。彼の宣伝努力は、カナダとの国境を持つセント・ローレンス川のオグデンスバーグから発せられました。連邦主義者で戦争に反対していたにもかかわらず、彼は戦費を調達して政府に貸し出しました。多くの歴史家たちは、彼が分配をピンはねしたと推測しています。セント・ローレンス渓谷の軍事戦略的重要性にもかかわらず、モントリオールを攻撃してローワー・カナダからアッパー・カナダまでの補給線を寸断するための侵攻回廊として、1813年11月にUSは一度だけ気乗りしない破滅的な試みに使用しました。残りの時期については、アメリカとイギリスは盛んになっている国境越えの貿易に興味を示し続け、あたかも両国間に戦争などないがごとく有効な関係を維持しました。このカードは、諸刃の剣です。もしもアメリカ軍によってイベントのためにプレイされたら、戦争を推進するための資源（毎ターンに追加カード）を得ます。ただし、もしもセント・ローレンス川を移動で下ったら、厳しく罰せられることになります。イギリス軍プレイヤーは、アメリカ軍により多くの資源を支払うことで、ローワー・カナダを防護するためにプレイすることすらできます。



### 40ージェームズ・モンロー [James Monroe]

国務長官モンローは、極端にエネルギッシュな男でした。彼は非常に優れた陸軍長官になりました（ただし、彼は戦争の終了近くになるまで引き継ぎませんでした）が、管理が細かい傾向がありました。この最も良い証拠は、彼が連隊将校の役割を演じて破滅的な結果となったブラデンスバーグの戦いです。

### 41ーブラック・ロック艦隊 [Black Rock Ships]

ブラック・ロックは、バッファロー近郊に位置した港で（今日ではバッファロー内）、エリー湖の文明末端にあるアメリカ人の重要な艦船港でした。エリー湖の口からナイアガラ川を2マイル下ったところです。これは、艦船を湖へ出すことを困難にし、河川口のカナダ側にあるフォート・エリーが敵性であると不可能となりました。アメリカ軍部隊がフォート・エリーの占領に成功したとき（一時的であれ）、オリバー・ハザード・ペリーはプレスク・アイルに自身の建造物を残し、ブラック・ロックに退散しました。彼は、そこで軍艦をエリー湖に曳いていくことができました（開戦以来、港は封鎖されていました）。次に、彼はロバート・バークレイの哨戒艦をすり抜けることができました。ブラック・ロック艦隊は、プレスク・アイルで活動しているペリーの艦隊に加えられました。

### 41ーブラデンスバーグ・レース [Bladensburg Races]

ブラデンスバーグの戦いは、合衆国軍にとって汚点を残しました。メリーランドは何年も民兵を軽視しており、彼らが徴集されることはないと考え、対応は疎かになりました。矛盾した命令が下され、次に取り消されました。政策的な指揮統制が介入し、積極的な影響力はありませんでした。橋梁は防衛されたり破壊されたりせず、様々な指揮系統は全く連携しませんでした。驚くにあたりませんが、瞬く間に潰走状態となり、ワシントンに踏みとどまる計画はすぐに放

棄されました。戦闘に勝つための民兵活用が十分でなかったことが認識され、予備役としての体系的な訓練システムが整備されました。

### 43ー指揮官の昇進 [Promote Leader]

戦闘での成功は、有能な人と無能な人を分ける唯一の方法です。

### 44ードーリー・マディソン [Dolly Madison]

2枚のカードを引いた後に、あなたは手札にある他のカードをプレイしなければならず、引かれた2枚の1枚である必要はありませんがパスはできません。

彼女は、むしろよそよそしい夫よりも明らかに個性で勝り、誰よりもワシントンの保持とアメリカ軍の指揮統率に貢献しました。彼女はジョージ・ワシントンの肖像画を守ったことで良く知られ、この行為は先見性と勇気あるとっさの考えでしたが、彼女の夫である大統領のジェームズが堅苦しく社交性を全く欠いていただけに、戦争初期により大きなインパクトを持ちました。ドーリーは正反対でした。：魅力があつて外交的で、生まれつきの社会奉仕者でした。彼女は大統領官邸でパーティーを開催し、彼女の夫の行動指針に有用な人々を招待しました。彼女なしでは、マディソンは成功していなかったでしょう。

### 45ー厄介な沼に過ぎない [Little More than a Pestilent Swamp]

他の東部沿岸都市と比較して、特にワシントンが上手に守られなかった理由は、アメリカ軍の首脳が防衛するに足らなかつたからです。当時、都市は少なくとも15,000あり、首都はまだ建設中で、今日の美しい姿ではありませんでした。

### 46ー不正な契約者 [Corrupt Contractors]

彼らは常にどこにでもいたし、これから現れます。

### 47、49ーニュー・イングランドの儲け仕事 [New England Thriftiness]

2枚のカードを引いた後に、あなたは手札にある他のカードをプレイしなければならず、引かれた2枚の1枚である必要はありませんがパスはできません。

イギリス軍が自軍部隊と市民人口を食べさせる唯一の方法は、アメリカの農民から購入することでした。問題は、彼らが金で支払ったことです。イギリスは、この国境越え通商が継続されることを確実にするため、極端な措置を取りました。

### 49、50ー農民に国境線は無意味 [Borders mean Nothing to Farmers]

カード47、48の注釈を参照してください。

### 51、52ー砲声へ行軍せよ！ [March to the Guns!]

これは、湖上又は海上移送は含みません。あなたの戦友が攻撃される時、あなたはその支援に向かいます。

### 53ーナポレオンが挫折する [Napoleon Suffers a Setback]

カード21の注釈を参照してください。

### 54ー砲兵！ [Artillery!]

砲兵は、戦争で大きな役割を演じませんでしたが、これは意図的な砲兵の集中と砲列を形成する努力をあらわします。

### 55ーローラ・セコール [Laura Secord]

セコールは、イギリス司令官のアメリカ軍への攻撃を警告するた

めに夜通し 20 マイル走りました。彼女の英雄性の詳細には、常に疑問が投げかけられてきましたが、この時点では伝説の領域に入っていました。

#### 56―斥候 [Scouts]

孫子以来、敵を知ることは全ての職業司令官の明確な要件でしたが、1812 年戦争中にはしばしば軽視されました。

#### 57―裏切り者 [Traitors]

このターン中に引かれたカードは、明らかにする必要があります。

#### 58―将軍間の諍い [Conflict between Generals]

カード上の図柄は、極めて良好な関係だったブロックとテカムセの会合を示すため、イラストはカードの効果とは逆です。良い例は、互いに軽蔑したジェームズ・ウィルキンソンとウェイド・ハンプトンで、1813 年後半にモントリオールへの「連携」攻撃は、悲惨な形で失敗しました。

#### 59―無能指揮官 [Incompetent Leader]

派遣隊を統率している指揮官である必要はありません。

#### 60―政治的陰謀 [Political Intrigue]

ジョージ・プレヴォスト（このカードのイラスト）は、彼が好んだ人物を昇進させ、そうでない者は左遷しました。アメリカの政治統率は、よくありませんでした。

#### 61―エリエザー・ウッド、ラルフ・ブルイヤー [Eleazer Wood/Ralph Bruyeres]

エリエザー・ウッドは、戦死した最初のウェスト・ポイント卒業者です。彼とブルイヤーは、戦争に従事して功績があった技術者で、多くの要塞化建造物を手掛けました。ウッドはアメリカ人で、ブルイヤーはイギリス人です。彼らは、互いに 4 ヶ月以内に死にました。

#### 62、63―待ち伏せ [Ambush]

米国史で主要な流れの一つでは、アメリカ人は不正規兵として闘い、縦隊で行軍するイギリス軍は待ち伏せされて高級将校の狙撃を許したとされています。1812 年戦争中には、これは完全に逆でした。アメリカ軍は、何度も行軍中に待ち伏せされました。

#### 64―プレスク・アイルの砂州 [The Bar at Presque Isle]

軍港入口は、わずか水面下 5 フィートが砂州でした。ペリーのガンボートは問題なく砂州を越え、彼のスクナー艦もそれほど問題ありませんでしたが、2 隻のブリッグ艦は問題でした。もしもフリゲート艦を持っていたら、もっと大変だったでしょう。歴史的には、イギリス軍司令官ロバート・バークレイは、この優位な状況を活かせませんでした。彼はしばらくの間はペリーを封鎖しましたが、補給のために基地へ戻らなければなりませんでした。彼がプレスク・アイルに帰還したとき、ペリーは砂州の排除をほぼ完了しており、彼のガンボートとスクナー艦はバークレイ艦隊に会敵するために大胆に出撃し、ブリッグ艦がその後ろに続きました。ペリーのブリッグ艦が重量を軽くするために大砲を降ろしていたことを、彼は知りませんでした。もしもバークレイが数時間早く到着していたら？ペリーの小型艦はバークレイの強力な艦隊に直面しておそらく敗北し、ペリーのブリッグ艦は格好の標的になっていたでしょう。

#### 65―艦を見捨てるな！ [Don't Give Up the Ship!]

HMS ジャノンによって破れたジェームズ・ローレンス艦長が USS チェサピーク艦上で述べた有名な最後の言葉です。ローレンスの友人オリバー・ハザード・ペリーは、この言葉を旗にして作り、エリー湖の戦いで彼の旗艦だったローレンスに掲げました。少なくとも、それは戦闘の最初の部分でした。彼は戦闘の途中で有名なナイアガラに移乗し、勝利しました。ペリーのような特に優秀な司令

官の大きな優位性によって、これを行うことが可能になりました。

#### 66―ハリケーン [Hurricane]

いくつかの奇妙な理由で、ハリケーンが吹くときには封鎖の維持が困難となりました。

#### 67―突風 [Squall]

帆船は、天候の気紛れに翻弄されます。

#### 68―湖上の嵐 [Storms on the Lake]

エドモンド・フィッツジェラルドの難破は、むしろこれが当てはまります。

#### 69―平底船（又は橇）密輸 [Baleaux (or Sledge) Smuggling]

平底船は、たいていはオールやかいで漕ぐ小型の平底ボートで、広範囲にわたる貿易に使用されました。これらは、湖の端に沿って密かに人員や補給品を移動させることができました。冬季には、凍結した湖を越えて、橇が驚くべき速度で移動できました。

#### 70―奪取の機は熟した [Ripe for the Taking]

何度か、湖上の艦船が岸に近づきすぎて捕獲されました。これらは「切除」作戦と呼ばれました。

#### 71―Congreeのロケット弾 [Congreve's Rockets]

これらは、フランシス・スコット・キー（米国国歌の作詞者）に赤い光を提供しましたが、それだけでした。これらはイギリス軍に小さな精神的優位性を提供しましたが、バグパイプがそれを行いました。

#### 72、73 陸軍省の恐れ [Council of your Fears]

「行軍の問題に過ぎない」（カード 75、76 等）を無効にするため、あなた自身に対してプレイされるかもしれません。

#### 74―悪天候 [Bad Weather]

当時の道路は、悪天候での通過が困難でした。

#### 75―真の悪天候 [Really Bad Weather]

しかも、ときには、完全に押し流されました。

#### 76―逃げ腰 [Cold Feet]

このカードがプレイされた派遣隊に対して適用されるかどうかは不明確です。もしも統率している司令官が 3 又は 4 の主導権値を持つと、カードは浪費されます。

ジェームズ・ウィルキンソンは、このカードに光彩を与えます。モントリオールを占領する彼の派遣隊は、躊躇、遅延、不徹底、最終的な失敗の縮図でした。

#### 77―ニュー・イングランド離脱の動き [New England Secession Movement]

米国からのニュー・イングランド離脱の実際の危機は、かなり誇張されました。その大きな影響は、そこと連携していた連邦党の終わりをもたらすことでした。

#### 78―いかなる犠牲を払っても和平を [Peace at any Cost]

ガン交渉の大きな優位性の 1 つは、両陣営が心から平和を望んでいたことでした。不幸にも、これは和平交渉の歴史では、むしろ例外外であることが実証されています。

#### 81、82―指揮官戦死 [Leader Killed]

プレイ・テスト中に聞かれた大きな不満の 1 つは、イギリス軍が多くの指揮官を失い過ぎることと、それが常に優秀な指揮官だったことです。戦争の犠牲者は、以下のとおりです。: アイザック・プロ



ック、テカムセ、ロバート・ロス、エドワード・パケンハム、ゼブロン・パイク。エドワード・パケンハムを除き、これらは全てゲーム内最高のイギリス人です。ジェームズ・ウィルキンソンのような司令官は、弾丸を受けるために前線に出ることはありません。彼が直面した最大の危機は、夕食を喉に詰まらせることでした。

### 83—指揮官負傷 [Leader Wounded]

ただし、ウィンフィールド・スコット、ヤコブ・ブラウン、アンドリュー・ジャクソンは、戦争中に危うく死を免れたことを忘れてはなりません。繰り返しますが、これらはアメリカ軍が有したほぼ最高の司令官たちです。彼らを効果的な司令官にしたことの一因は、その存在を不安定にすることでした。

### 85—恐怖の塊 [Sun of All Fears]

おそらく、このカード上にスティーヴン・ファン・レンセラーの肖像を乗せることはアンフェアです。彼の部隊は、ほぼ完全に訓練されておらず、彼の上司は僅かな物資を与えて成果を要求しました。結果は同じでした。開戦時、彼はナイアガラ川に沿って攻撃し、初期における若干の成功の後、敗北に突き落とされました。

### 86—「レーズン川を忘れるな！」 [Remember the Raisin!]

これは、おそらく歴史上で最も風変わりな救いの叫びです。ジェームズ・ウィンチェスター指揮下のケンタッキー人部隊は、デトロイトの奪回に向かい、前進し過ぎてレーズン川の土手で包囲されていることに気づきました。ウィンチェスターは降伏しましたが、彼の部隊の大部分は、一切関知しないヘンリー・ブロクターに率いられたインディアンによって殺されました。「レーズン川の大虐殺」は、イギリス軍の名誉とヘンリー・ブロクター将軍の汚点となりました。

### 87—指揮統率の失敗 [Failure of Leadership]

このカード上に描かれたウィリアム・ハルは、彼の根拠地デトロイトからアップパー・カナダへの初期侵攻を発動しました。彼は、地元民が彼を解放者として歓迎するものと期待しましたが、これは失敗に終わり、彼は氣力を失って退却しました。すぐ後に、彼はデトロイトでアイザック・ブロックとテカムセに降伏しました。

### 88—ジョージ・コックバーン [George Cockburn]

1812年に、ジョージ・コックバーン少将は、海軍の北アメリカ停泊地にあるサー・ジョン・ウォーレンの下に配属されました。ウォーレンはあまりにも消極的だったため、コックバーンは処理しなければならない問題に自身で着手しました。彼はチェサピーク湾のセント・アイランドに根拠地を確立させ、絶え間なく湾内を巡航してアメリカの艦船を捜索し、通商を混乱させて港湾を襲撃しました。アレクサンダー・コ克蘭提督はウォーレンを更迭しましたが、コックバーンは信念を持ち続けました。実際に、彼はワシントンへの遠征に何ら権限を持ちませんでしたが、後につき従いました。イギリス軍がそこで公的な建物を燃やすことを終了したため、コックバーンはもう一度それを行いました。彼はチェサピーク湾での彼の略奪を非難していた、ナショナル・インテリジェンサー新聞本社にイギリス軍兵士の一団を送りました。彼は、建物を焼失させようと意図しましたが、近所の女性たちの集団が近隣の家へ延焼することを恐れて彼を説得しました。代わりに、彼は部隊に建物



を倒壊させて印刷機を破壊しよう命じ、全ての「C」のタイプ文字を処分して、これ以上彼の名前を印刷できないようにしました！戦後、彼はナポレオンを幽閉地セント・ヘレナへ護送し、後に艦隊の提督に上り詰め、最初の海軍本部武官委員となり、英帝国内の奴隷制根絶の猛猛な敵対者となりました。

### 89—統合戦略 [A Unified Strategy]

両陣営にとって不幸にも、戦争中にこれは起きませんでした。それは助けになったはずですが、イギリス軍は閉じこもるようになったため、摂政皇太子の肖像画がこのカードを睨んでいます。

### 90—首脳の混乱 [Confusion at the Top]

これは、特にアメリカについて日常茶飯事だったので、マディソン大統領の絵がカード上に描かれています。

### 91、92—都市焼討ち [City Burns]

この種の「野蛮な」行為は、あなたの部隊に一時的な士気高揚をもたらすかも知れませんが、国際社会や自国の思慮深い市民からさえ好感を持たれません。両者は、和平の動機と野蛮性の終了に圧力をかけることになります。

### 93—スペインが参戦する [Spain Enters the War]

もしも複数の文明化インディアンが敵対であると、カウンター内容物の限度内で、6ポイントを望む方法で分割できます。

### 94—アメリカのフロリダ拡張政策 [America Expansionism in Florida]

スペインは、フロリダを防衛する能力を持ちませんでした。結果的に、アメリカ軍は米国政府に鼓舞されてアメリア島を掌握し、自国政府の形成又は米国への領土併合を試みました。無能と無関心により、スペイン植民地政府は何も行わず、結局フロリダは1822年に米国によって併合されました。

### 95—ジャン・ラフィット [Jean Lafitte]

アンドリュー・ジャクソンのニュー・オリンズの戦いへの最大の貢献は、ジャン・ラフィットのバラタニア海賊をイギリス軍の代わりにアメリカ軍と組ませたことです。彼らは、特にその熟練した砲手と弾薬の備蓄によってアメリカ軍を助けましたが、ニュー・オリンズへ戻る方法を知っていたことで、イギリス軍に大きな支援を提供していました。

### 96—豪雨 [Heavy Rains]

コーデュロイ道路は、伐採した丸太を進行方向へ垂直に敷いて造られました。これらは、当時良好な道路と見なされました。

### 97—厳冬 [Hard Winter]

冬季ターン中にのみプレイできます。

カナダの冬は、明らかにアラバマとは微妙に異なります。

### 98—野戦構築物 [Fortifications Work]

人々は、達成できることとできないことを信じません。

### 99—国歌 [National Anthem]

プレイヤー諸氏は、ゲームの展開から独自の歌詞を書いてください。私は音痴なので、相手の気をゲームから逸らせる精神的優位性を発見しました。

### 100—最後まで戦い抜く [Fight to the Finish]

ときには、叩けるときに叩かなければなりません。



### 101ー逸れた銃撃 [A Glancing Blow]

ときには、損失を削減することも良いアイデアです。

### 102ー遅滞戦闘 [Delaying Action]

*Amateurs to Arms* の部隊は、しばしば土地よりも無価値です。

### 103ー停戦 [Truce]

1812 年、合衆国の宣戦布告直後、野戦司令官たちはほぼ全戦線で一連の停戦交渉を行いました。おそらく、これはアメリカ軍の戦争計画について何も述べていません。カードは、ジョージ・プレヴォストとの大規模な停戦を調停したヘンリー・デアボーン・ギルバート・スチュアートの美しい肖像画です。

### 104ー不確かな勝利 [Unsure of Victory]

いいえ、あなたはこのカードをプレイした敵派遣隊に対して適用できる確証はありません。もしもそれを統制している指揮官が 1 よりも高い戦術値を持つと、カードは浪費されます。

このカードには、ウェイド・ハンブトンが描かれています。彼は 1813 年にモントリオールへ向かった、2 つのアメリカ軍派遣隊の 1 つを率いました。シャトーゲーで約千人のカナダ人民兵に対峙した際、彼の遥かに優勢な軍勢は退却し、おまけに林の中で敗北しました。彼はニューヨーク州フォア・コーナーの根拠地に退散しました。

### 105ー財政危機 [Financial Crisis]

両陣営は、戦争中に財政問題を経験しました。イギリスの貿易は、ナポレオンに対する長期の戦争によって影響を受け、同盟国への多額の助成金は彼らの富を枯らせました。他方、アメリカは、遥かに弱体な状況で開始しました。ジェファースンとマディソンは、アメリカの貿易に禁輸令を課し、連邦政府の主な財源は関税で賄われていたため、経費節減の効果は半分でした。両陣営が和平を模索した理由の 1 つは、ポッケがカラになっていたからです。

### 106ー湖上への出撃 [Sally Onto the Lake]

両陣営が抱えた大きく困難な案件の 1 つは、その海軍司令官たちが自艦隊を危険に晒すことを極端に躊躇ったことです。ときには、あなたは彼らに出撃させなければなりません。

### 107ー暗礁か？ [What Rocks?]

戦争を通じて、艦船は下手な操船、悪天候、超過荷重等によって沈没しました。湖や艦船は指定しません。

### 108ー英雄現る [A Hero Arises]

「一瞬の無能」カードは、英雄に影響を持ち得ます。

機会を捉えて立つ男は、常に存在しました。

### 109ーイギリス軍の増援 [British Reinforcements]

戦争を通じて、イギリス軍はカナダを防護するために、様々な植民地守備隊から少数の部隊をやりくりしました。

### 110ー同盟インディアンの帰還 [Indian Allies Go Home]

イギリス軍が持っていた困難さの 1 つは、同盟したインディアンで、彼らを養って補給を提供し、戦争への熱意を維持させるために略奪を許さねばなりませんでした。

### 111ーウィリアム・ウェザーフォード [William Weatherford]

ウェザーフォードは、スコット・クリーク族の生まれで、クリーク戦争中にレッド・スティック派の指導者でした。大体において、ウェザーフォードは部族の若い過激派に担ぎ出され、彼らを抑制できませんでした。彼は戦闘では有能な指導者で、平和が訪れた後もリーダーシップを発揮できました。

### 112ー騎兵だ！ [Cavalry!]

1812 年戦争では、騎乗戦闘は極めて稀にしか見られませんでした。ただし、テムズ川の戦いでのケンタッキー民兵の突撃は、決定的な打撃力を証明しました。アンドリュー・ジャクソンは、クリーク戦争中にジョン・カフィに率いられたテネシー人乗馬義勇兵を用いました。

### 113ーロンドンのロイドが和平の圧力をかける [Lloyd's of London Pressures for Peace]

3 年足らずの戦争中に、イギリスとアメリカは、フランスが 15 年以上の間に失ったよりも多くの艦船を破壊しました。仕舞には、保険料は積荷よりも高騰しました。争いは国の基盤と利益を脅かしました。

### 114ー米国政府が破綻に向かう [US Government Goes Bankrupt]

財政危機で述べたように、合衆国は戦費調達で非常に困難に直面しました。少なくとも 2 回、政府が戦費を払えなかったため、和平に訴えるための厳しい考慮がなされました。このような時点で米国議会が発したアイデアを、現在では考えが足りないとして笑えるでしょうか？

### 115ー「敵と遭遇し、それらは俺たちのもの」 [“WE Have Met the Enemy & They are Ours”]

エリー湖上のペリーの勝利は、戦争の残りについてアメリカ軍が北西戦域を支配することを確実にしました。それは、アメリカの歴史で大きな引用句の 1 つにもなりました。

### 116ーノア・ブラウン [Noah Brown]

「制限なしで」アメリカ軍プレイヤーに、同じ艦船を前方へ複数ボックス移すための作戦ポイントの消費を認めます。

アメリカ軍陣営で最も報われない英雄の一人、ノア・ブラウンは合衆国が湖の支配を試みることを可能にしました。ニューヨーク・シティで成功した造船家のブラウンは、戦隊司令官アイザック・チャウンシーのためにオンタリオ湖で造船を助けるために召喚され、迅速に数隻の艦船を建造しました。オリバー・ハザード・ペリーは、彼をエリー湖へ派遣し、ブラウンは全く時間をかけずに完全な艦隊を建造しました。後に、イギリス軍がニューヨークに侵攻するための高速道路としてシャンプレーン湖を脅かした際に、彼はそこでも同様の成果を上げ、トーマス・マクドノーのために迅速に艦隊を建造しました。

### 117ー極秘フリゲート艦建造計画 [Secret Frigate Building Program]

切迫した非常時に、大きな努力で、ときには巨大な艦船が記録的な速度で建造されました。イギリス軍は、これをシャンプレーン湖上のフリゲート艦 HMS コンフィアンスで行いましたが、完成を急いだことは彼女を助けず、就役してからわずか 2 週間後にブラッツバークの戦いで敗北しました。

### 118ー「奴らは正規兵だ、畜生！」 [“Those are Regulars, By God!”]

どのイギリス軍司令官が上記の言葉を言ったのかに疑いがもたれていますが、ウィンフィールド・スコットのプライドが言わしめた可能性はあります。米国軍隊の職業軍人への非常に大きな拡張は、このときに生まれました。

### 119ーデービー・クロケット [Davy Crockett]

彼はクリーク戦争中に大きな役割を演じませんでした。クロケットはアンドリュー・ジャクソンの下でテネシー民兵の指揮官として名声を上げ始めました。

### 120ーサム・ヒューストン [Sam Houston]

「一瞬の無能」カードは、ヒューストンに影響を持ち得ます。

クリーク戦争で経歴を開始したもう一人の若者がいました。彼はアンドリュー・ジャクソンとは全く異なる道を歩みました。おそらく、当時のアメリカ政治家でヒューストンほどアメリカ先住民に同情的だった者はいないでしょう。アンドリュー・ジャクソンは、最も反アメリカ先住民の指揮官でした。

#### 121—新たな税金はもうたくさん！ [No New Tax!]

戦争中、戦費を賄うために、議会は税金の値上げを何度か申請しました。これらは、来たるべき選挙のために取り下げられました。人々が考えることは、今も昔も変わりありません。

#### 122—「行軍の問題に過ぎない・・・」 [A Mere Matter of Marching・・]

私の控えめな意見では、トーマス・ジェファーソンは米国史の中で最も過大評価された大統領です。彼は、今日でいうほぼ完璧な名士でした。彼が成し遂げたことは印象的である一方、極端に美化され、失敗は忘れ去られました。大統領任期中、彼は有力な部隊に台頭しつつあった海軍の解散を試み、ウェスト・ポイントの権威を奪い、国を不安定な状況に置いて、外国での事件がほぼ戦争を回避できなくなるまで放置しました。米国が考えねばならなかった2人の異なる見解があります。：ジェファーソンとアレクサンダー・ハミルトンのそれです。ほとんどの場合、ハミルトンが正しい結果となりました。上記の引用は、ジェファーソンが信じていた、カナダの征服は「行軍の問題に過ぎない」を反映します。私は彼が悪い大統領であったと仄めかすことは望みません。彼はそうではありませんでした。彼は、決して後世が彼を持ち上げたようなコロサス（巨人）でなかったに過ぎません。

#### 123—モンティチェロの賢者 [The Sage of Monticello]

デュマ・マローンのジェファーソン伝記最終巻（全6冊！）は、このカードと同じ名称です。ジェファーソンが生きていた当時、彼は自宅で重要な客に助言しました。したがって、もしもアメリカ軍がこのカードをイギリス軍に対して使用すると、明らかに戦争継続を助けるための良い助言ですが、もしもイギリス軍がこのカードをアメリカ軍に対して使用すると、価値ある資源を浪費させる悪い助言です。

#### 124—ダニエル・ウェルズ&ヘンリー・マコマス [Daniel Wells & Henry McComas]

このカードは戦闘の前に影響を持つため、従属指揮官（又は代替指揮官）が指揮を執らなければならないことに注意してください。戦術値と攻撃している部隊の数の両方が影響を受けます。

伝承によると、ノース・ポイントの戦いでロバート・ロスを殺した2人の若者です。なぜ彼らがそれを行ったのか知る者はなく、彼らは続く闘いで戦死しており、誰でもよかったという点で注目に値します。一点、メリーランドの公式な州の休日は、9月12日の防衛側の日で、ボルチモアがイギリス軍と闘った日が通常の祭りで祝われました。今日では、ほぼ忘れられて無視されています。

#### 125—（13も参照）「オールド・アイアンサイズ」 [Old Ironsides]

コンスティチューションは戦争中に非常な成功を収めたので、2枚のカードを用意しました。彼女のHMS サイアニーとHMS レヴァントに対する最後の勝利は、和平が調印された2か月後に起きました。

#### 126—封鎖破り [Slip Past the Blockade]

完全な封鎖を履行することは不可能で、帆船時代は特にそうでした。潮流が正しく風向きが好ましいときには、積極的な艦長は封鎖破りを行うことができました。USS コンステレーションは、戦争全体を通じてノーフォークに閉じ込められていました。しかし、コンスティチューションは、戦争中に複数回これを突破しました。

#### 127—軍隊昇進 [Army Promotions]

戦争中に、何度か低級将校の完全な一団が同時に昇進しました。

#### 128、129—政策昇進 [Political Promotion]

ときには、最良の有望者も実際に昇進しました。

#### 130—將軍の更迭 [Transfer Command]

ジェームズ・ウィルキンソンは、このカードに啓発されます。ヘンリー・デアボーンが1813年にカナダ奪取に失敗して更迭された後、彼はジェームズ・ウィルキンソン將軍にとって代われました！後知恵を持つ我々は、アメリカ軍プレイヤーがこれを決して行わないことを知っています。そこで、この出来事をシミュレートするために、私たちは元々自軍司令官のみの異動を容易にしていたが、これでより面白くなりました。

#### 131—新軍規 [New Army Regulations]

ジョン・アームストロングは、偉大な司令官でも陸軍長官として傑出した存在でもありませんでした。しかし、彼の「規律と軍規」は、効果が迅速で継続的な注目すべきドキュメントで、後に続く全ての規範となりました。このカードがデッキ内にあることを知っていると、ジョン・アームストロングを陸軍長官に昇進させる立派な理由になります。

#### 132—インディアン国家 [Indian Nation]

イギリス軍が明示できる到達点の1つは、米国の勢力を抑制するためにアメリカ先住民国家を確立することでした。現実には、イギリス軍がインディアンを用いる際には、通常彼らがそのような国家の確立を成し遂げるように交渉しましたが、その可能性は争いが長引くことによってのみ導かれるものでした。

#### 133—ジョン・ノートン [John Norton]

ノートンは、ナイアガラ開拓地周辺でアメリカ軍に対してイロコイ族を率いました。非常に興味深いことに、ノートン自身はスコットランド・チェロキー人でしたが、モフォーク族内に養子となり、指導者に上り詰めました。

#### 134—ブラック・ホーク [Black Hawk]

ブラック・ホークは、ソー族の指導者で、彼らを率いて北西のアメリカ人居留地に対しました。彼の米国への敵意は、自身の戦争を続けるまで継続しました。

#### 135—レッド・ジャケット [Red Jacket]

彼はニューヨークのセネカ族の指導者で、皮肉な名称を与えられ、アメリカ軍部隊に味方して彼らを率いました。彼らの闘争への情熱は、自らが他のイロコイ族と闘っていることを発見したときに大きく変化し、以後は援助を中止しました。

#### 136—ラウンドヘッド [Roundhead]

彼は、テカムセを支持したワイアンドット族の酋長で、フォート・マギナック占領の際に一度イギリス軍の厳しさを見ており、テムズ川の戦いで彼の傍で死にました。

#### 137—不正な契約者 [Corrupt Contractors]

カード46の注釈を参照してください。

#### 138—アメリカの私掠船 [American Privateers]

世界最大の貿易国家は、敵に大量の目標を提供します。アメリカは、優位性を持ちます。

#### 139—ニュー・イングランドの儲け仕事 [New England Thriftiness]

カード47と48の注釈を参照してください。



#### 140ーアンクル・サム [Uncle Sam]

「不正な契約者」タイプのカードに対して機能します。

サミュエル・ウィルソンは、戦争中に米国政府が供給したニューヨークからの肉卸業者で、どうやら本当に食肉用だったようです。そこから、瞬く間に国家のシンボルとなりました。

#### 141ー逃亡兵 [Deserters]

両陣営は、戦争中を通じて逃亡兵に悩まされました。

#### 142ージョシュア・バーニー [Joshua Barney]

バーニーは、戦争中にチェサピーク湾で小艦隊を統率し、イギリス軍の襲撃を妨害しようと試みました（滅多に成功しなかった）。彼とその水夫、海兵たちは、ブランデンズバーグで唯一効果的なアメリカ軍の抵抗を提供し、不幸にも動転した七面鳥が逃げることで包囲されたときに、鷲のように舞い上がることは困難でした。

#### 143ーデケーター艦長がフリゲート艦を捕獲する [Captain Decatur Captures a Frigate]

スティーヴン・デケーターは、開戦時の米国海軍で最も有名な艦長で、バーバリ戦争での彼の働きが賞賛されていました。ホレイショ・ネルソンは、彼の偉業を「最も大胆で時代を魅了する行為」と呼びました。HMS マケドニアンに対する彼の戦闘は、優れた操艦技術と幸運の組み合わせで、イギリス艦を降伏に追い込みました。USS ユナイテッド・ステーツと彼女の獲物はニューヨーク港へ凱旋し、大喜びの群衆に迎えられました。次の航海で、彼は優勢なイギリス軍戦隊によってコネティカットのニューロンドンに追い込まれ、そこで戦争の残りを費やすことになりました。

#### 144ーウィリアム・クラーク [William Clark]

もしもザカリー・テイラーがすでにイン・プレイにあると、アメリカ軍プレイヤーは彼をセント・ルイスへ移すか、又はその場に残すことができます。

クラークはミズーリ領土の統治者で、戦争中にミシシッピ川をアメリカの支配下に維持するために尽力しました。ザカリー・テイラーは、彼の統率下にあった若い将校で、このときに多くの戦いを指揮しました。

#### 145、146ー相手側の命令が手紙の中で失われる [Opponent's Orders are Lost in the Mail]

このカードの使用は、ゲーム内で戦役を組み合わせる唯一の方法です（大又は小戦役の注釈を参照してください）。

#### 147ーアメリカの私掠船 [American Privateers]

中立港で戦争を開始したアメリカの艦船は多く存在し、アメリカへ戻ることを全く気にしてませんでした。これらの多くは、最寄りのアメリカ領事から私掠船許可証を受け取り、仕事に出ました。英国海軍が世界中の各港を封鎖できないことは明らかで、これは戦争全体について継続しました。

#### 148ーイギリス軍の増援 [British Reinforcements]ーカード 109 の注釈を参照してください。

#### 149ーイギリス政府が倒れる [British Government Falls]

イギリス政府の安定は、明らかに北アメリカでの厄介事よりも多くの出来事によって影響を受けましたが、その運命は和平交渉の役割を越えてプレイすることになります。これは、実際には起きなかったものの起こり得たことです。

#### 150ーサミュエル・スミス [Samuel Smith]

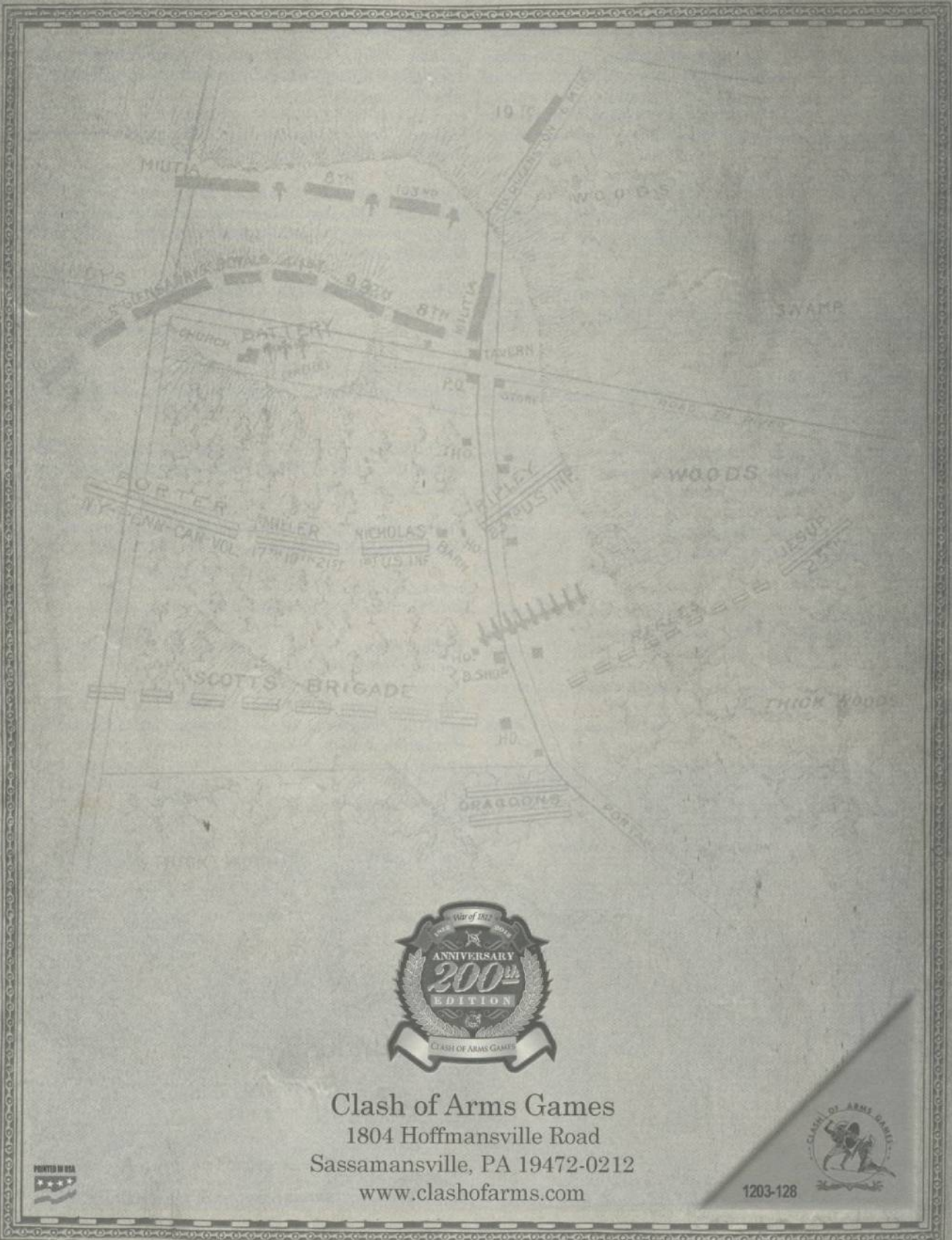
「一瞬の無能」カードは、スミスに影響を持ち得ます。

スミスは、ボルチモアからの商人、政治家で、革命を支持しました。彼は、イギリス軍の攻撃前にボルチモア防御とメリーランド民兵の指揮を執るために置かれました。彼は、攻撃前に民兵を集合させて実際に野戦構築物を建設するような、聡明なアイデアを持ちました。彼の多大な努力により、イギリス軍の攻撃は失敗しました。

## 参考文献

（省略：英文プレイ・ブックを参照してください）。





Clash of Arms Games  
1804 Hoffmansville Road  
Sassamansville, PA 19472-0212  
[www.clashofarms.com](http://www.clashofarms.com)



1203-128